

第4回 東京理科大学総合研究院合成生物学研究部門シンポジウム

日時：2023年3月 10日（金）14時から18時40分まで

シンポジウム開催形式：野田キャンパス10号館1階ホール・ZOOMにて開催（ハイブリッド）

14:00-14:10 開会の挨拶 伊川友活（東京理科大学・生命医科学研究所）

セッション1：合成生物学・生命医科学研究への応用（座長：伊川友活）

14:10-14:40 「造血幹細胞増幅がもたらす未来技術」
山崎 聡（筑波大学・医学医療系・幹細胞治療）

14:40-15:10 「ゲノム編集による自己免疫疾患の病態解明」
石垣 和慶（理化学研究所・生命医科学研究センター・ヒト免疫遺伝研究）

15:10-15:40 「植物の力を利用したプロテインノックダウン」
鐘巻 将人（国立遺伝学研究所・遺伝メカニズム研究系・分子細胞工学）

15:40-16:10 「がん免疫相互作用を要因とする腫瘍形成過程の数理科学的解明」
波江野 洋（東京理科大学・生命医科学研究所）

16:10-16:30 休憩

セッション2：合成生物学・植物、微生物（座長：松永幸大）

16:30-17:00 「共生進化機構の実験進化による理解」
深津 武馬（産業技術総合研究所・生命工学領域・生物プロセス）

17:00-17:30 「どうすれば植物になれるのか？ — 盗葉緑体生物ラパザの動的キメラ状態 —」
柏山 祐一郎（福井工業大学・環境情報学部・環境食品応用化学科）

17:30-18:00 「光合成ウミウシにおける盗んだ葉緑体の意義と大規模再生」
遊佐 陽一（奈良女子大学・理学部・生物科学領域）

18:00-18:30 「遺伝子の水平転移と *de novo* 転写」
小保方 潤一（摂南大学・農学部・応用生物科学科）

18:30-18:40 閉会の挨拶 松永幸大（東京大学大学院・新領域創成科学研究科）